

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 環境-27 名越クリーンセンター収集事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	環境センター(名越クリーンセンター)	関連課	環境部各課・管財課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集の効率化。 燃やすごみの減量化。(生ごみ資源化及び循環資源の再利用、再生利用)						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	103740人	103596人	103718人			
事業費(千円)	14,654	16,903	20,075				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	14,654	16,903	20,075			
	人員配置数	55.3人	58.8人	60.8人			
	人件費(千円)	444,770	487,121	544,107			
	協働のパートナー	自治・町内会長	自治・町内会長	自治・町内会長			
		廃棄物減量化推進員	廃棄物減量化推進員	廃棄物減量化推進員			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	459,424	504,024	564,182			
	市民1人当りの経費(円)	2,583	2,844	3,184			
	対象者1人当りの経費(円)	4,429	4,865	5,440			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
燃やすごみの年間収集量	◎	目標値	15,000.00t	14,800.00t	14,600.00t	14,500.00t	11,544.00t
		実績値	14,841.05t	14,768.74t	14,545.98t	14,451.48t	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
名越クリーンセンター 収集事業	14,654	名越クリーンセンター 収集事業	18,400	今後の 方向性	B	理由 ・手法	ゴミの収集業務等に支障のないよう、安全作業及び車両管理等を行っていく。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	「声かけふれあい収集」及び狭隘地区のクリーンステーション設置要望が、現在も増加傾向にあり人員、機材の確保が必要である。										
課題解決のための取組	・退職者不補充による職員数減少のため、収集業務の委託拡大を図った。 ・廃車予定の軽ダンプ車を継続使用して対応した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	引き続き「声かけふれあい収集」及び狭隘地区のクリーンセンター設置等の市民要望の対応。										
中事業の評価	適切=○ 改善=△ 【2面「評価の視点」を参照】 □		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	今後も退職者不補充による職員数減少のため、現在予定している戸別収集を計画する上で「声かけふれあい収集」、狭隘地区のクリーンステーション収集を含め人員及び機材を整え、安定した収集体制を確保していく。							➡	B	※□事業完了	

評価者名

環境センター担当課長

杉田 公敬

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
名越クリーンセンター収集事業	・大船、玉縄及び深沢(一部)地域のごみの収集・運搬作業。・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施。・清掃車両の整備及び管理。								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1169	収集作業用等消耗品	1,132	1,132	○	○	○	○
		1169	収集車両用燃料費	7,988	4,550	○	○	○	○
		1169	維持修繕料	55	0	○	○	○	○
		1169	備品修繕料	3	0	○	○	○	○
		1169	収集車両用修繕料	9,050	8,367	○	○	○	○
		1169	資源物保管施設等作成用原材料費	150	148	○	○	○	○
※□	事業完了								
[Blank]	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
※□	事業完了								
[Blank]	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
※□	事業完了								
[Blank]	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
※□	事業完了								
[Blank]	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
※□	事業完了								